

# 市議会だより

ゆりほんじょう



平成21年 第3回定例会(9月)

## 一般質問(P23)

「県市町村職員互助会から脱退」

大関 嘉一

「生活保護の現状について」

佐々木 勝二

「地域の特色を格差是正で」

「一律にして良いのか」

高橋 信雄

「機構改革と理事・」

政策監職の見直しは」

渡部 功

「安全安心のまちづくり」

村上 文男

「小・中学校の」

Eco学習について」

堀 友子

# 市政に 対する

# 一般質問

一般質問は、9月7・8日の2日間にわたって行われ、6名の議員が市政全般にわたる諸問題を取り上げ、当局の所信や見解をただしました。各議員の主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

内容は、9月現在のものです。

## 県市町村職員互助会 から脱退

大関 嘉一 議員



**質問** 県市町村職員互助会に対する最終的な判断は本年9月までとしているが。

**答弁** 現状からの脱却、改善に向けた進展や将来の目指すべき方向がまったく見えない。苦渋の選択ではあるが、今後は県互助会から脱退する方向で協議、調整を進める。

**質問** 来年度予算編成の基本的な考え方は。

**答弁** 厳しい財政状況である。景気の落ち込みや国政の先行きが不透明なことから、今後の国・県の動向を注視しながら、限られた財源を重点的に配分し、均衡ある発展を目指す。

**質問** 地域医療への対応は。厚生連への支援は。

**答弁** 全国的に医師不足である。この危機的状況の解消のため、常勤医師確保についてあらゆる機会を捉えて関係機関に要請する。由利組合総合病院より具体的な支援要請があれば、議会とも十分相談させて頂く。

**質問** 由利高原「由利原まつり」のグレードアップを図るべきと思うが。

**答弁** 鳥海山麓への集客に大いに貢献していると認識して

いる。予算編成で新たな角度からの配分ができないか検討する。



今年も盛会裏に終えた由利原まつり

**質問** 定期バス路線外への有償バス運行等の交通対策が必ずやと思うが。

**答弁** 合併により、広大な地域を公共交通機関がカバーしきれず、地域社会の形成に大きな課題を抱えている。現在運行している有償運送路線のルートの見直しや交通空白地域における新たな運行路線設

置の必要性について調査検討する。

## 生活保護の現状について

佐々木 勝 二議員



**質問** 生活保護の受給者が増えている状況であると思うが、本市の現状について相談件数、申請件数、受給世帯数等、また今後の対策について伺いたい。

**答弁** 平成21年8月末時点では、昨年の同時期と比較すると受給世帯数で30世帯、受給人数で67人、それぞれ増加している。雇用情勢は、依然として厳しい状態が続いており、失業による新たな生活保護世帯の発生は避けられない面もあるのではないかと考えている。生活保護に関しては、市としても法にもとづき、その適正な運用に努めているところであるが、昨年後半からの

## 議会の動き

7月

1日\*市と市議会との合同地元要望

2日\*国道107号国道整備促進期成同盟会通常総会

\*秋田県国道108号鳥海ライン整備促進期成同盟会通常総会

6日\*総務常任委員会協議会  
\*第1回秋田県市議会議長会定例会

7日\*静岡県沼津市議会行政視察来市

\*議会改革検討委員会  
8日~9日\*市と市議会との合同中央要望

10日\*議会報編集特別委員会研修会

13日\*井川町議会行政視察来市

\*議会報編集特別委員会  
14日\*地域高規格本荘大曲道路整備促進期成同盟会総会

\*長崎県長与町議会行政視察来市

失業がもとの生活保護の相談に取り組むほか、生活保護制度がわからず、生活に困窮している場合などが無いように、制度の周知をはじめ、民生委員や庁内各部署との連絡、連携をさらに強め、要援護者の情報などが適切に福祉事務所で把握できるように努めてまいりたい。

**質問** 岩城・松ヶ崎地域の小学校建設推進委員会の協議会での候補地の選定と今後のスケジュールについて伺いたい。  
**答弁** 「学校環境適正化計画」を基に、複式学級や小規模校の解消のため、岩城・松ヶ崎地域の小学校3校を統合し、新校舎建設を「市総合発展計画」と整合性を図り平成26年4月開校を目標に進めている。学校建設推進委員会の協議では亀田・道川・松ヶ崎の各小学校を統合するとし、建設候補地の選定については3地域の中から11箇所候補地から選定することとした。立地条件の視点を基にして調査を継続してまいりたい。



統合が予定されている松ヶ崎小学校

### 地域の特色を格差是正で一律にして良いのか

高橋 信雄 議員



**質問** 基幹産業としての農業振興、支援策は。小規模農家への配慮と生産調整に見合った価格維持政策を。  
**答弁** 農産物価格の低迷、資材の高騰を憂慮している。関係機関と連携して農業生産の体質強化、所得向上に努める。

**質問** 農業の衰退は農村の崩壊へ続く。意欲ある農家支援だけでよいのか。政権交代で集落営農はどうなる。  
**答弁** 農業農村の維持発展には総合的な対策が必要である。国の対応を注視し、関係機関と連携する。

**質問** 市長が県議時代より推進してきた市町村合併はどのようなイメージか。  
**答弁** 合併は現在の社会構造や経済状況下では当然あるべき姿である。バラ色の姿は難しい。昨年実施した「財政計画」と「総合発展計画」の見直しを尊重する。

**質問** 市長の認める合併効果と課題は何か。  
**答弁** 合併特例債の活用でのまちづくりや住民生活の向上に効果があった。行政サービスの低下、総合支所の裁量の縮小、「地域間の格差拡大」への住民の不満などへの対応が課題である。

**質問** どのような格差を感じ、どうしようとしたのか。「地域間のバランス」とは配分される予算か。合併前から地域

には特色、特性という格差があったのでは。それを大切にしてほしい。

**答弁** 地域格差という住民感情は、合併市のみならずほとんどの自治体で見られる。地域格差に配慮した実態は確認した。新市として新しいルールを構築し、各地域における独自の地域づくりを推進し、各地域の特色を生かした新たな予算配分も検討する。

### 機構改革と理事・政策監職の見直しは

渡部 功 議員



**質問** 職員減少の中で市民サービスを向上させるには、大胆な機構の見直しとスリム化の中で、課や職員間の横のつながりを強化し、協力し合える体制・体質を構築し、「理事」や「政策監」等の役職の見直しをはかり、産業振興等

- 14日～16日\* 教育民生常任委員会行政視察（霧島市・鹿児島市・鹿屋市）
- \* 産業経済常任委員会行政視察（滝川市・美瑛町）
- 15日～16日\* 東北日本海沿岸市町村議会協議会役員会及び総会
- 15日～17日\* 建設常任委員会行政視察（新見市・出雲市・鳥取市）
- 21日\* 議会運営委員会
- 22日\* 第2回臨時会
- \* 議会全員協議会
- 23日～24日\* 全国市議会議長会第135回建設運輸委員会
- 24日\* 国道7号下浜道路建設促進期成同盟会通常総会
- 28日～30日\* 総務常任委員会行政視察（千歳市・栗山町）
- 29日\* 兵庫県三田市議会行政視察来市
- 31日\* 議会改革検討委員会

の本市全体を売り込む部門や企業誘致等の推進のために外部の専門的な人材も含めたプロジェクトチームの設置の考えは。

市民サービスが低下しないように、本庁、総合支所を含めて、部や課の体制の見直しに取り組み、理事や政策監の職は見直しを検討する。市全体を売り込むことや企業誘致の推進など、体制整備については今後の機構見直しの中で参考にしたい。

家畜市場建設は地域の絶対的な理解で

「秋田由利牛」の産地確立の為に市場は必要であり、建設について一番大切な事は、衛生・環境対策を完璧に行い、地域の方々に建設内容をきちんと説明し十分に理解を頂くことである。地元の要望を取り入れながら、隣県の近代的な家畜市場の視察も理解を深めて頂くには極めて大切な事である。今後の対応は。

建設計画では、大内大谷地内に1日500頭の子牛取引を効果的に見える施設として、平成24年度開設を目標

とするものである。地元集落と周辺地域の住民に対しての説明会等を開催し、事業推進へ理解を頂くと共に、隣県家畜市場の視察を実施し、関係者の意見を取り入れ、環境衛生や地域の利便性に配慮した施設になるよう働きかける。



家畜市場の統合により、効率・効果的な取引が期待されます

安全安心のまちづくり

村上 文 男 議員



一般住宅の耐震化率とその向上施策は。

今年度末まで「由利本荘市耐震改修促進計画」を策定する。住宅の耐震化率は、56%弱と推定されるが、平成27年には、80%まで上げる計画であり、計画策定後には耐震診断や改修費用の一部を助成する他、税制面でも優遇措置を活用し防災上安全・安心なまちづくりの施策を講ずる。

自主防災組織の強化と人材育成が求められるが。

防災セミナーや防災リーダーの育成のための予算措置をして、自主防災組織の強化を図るとともに、要援護者の避難支援計画を策定する。職員の育成は、「危機管理専門研修」に参加するなど体制強化を図り、消防職OBにも知識と経験を地域防災活動に生かせるよう協力を求める。

防災の観点から鳥海ダム

の必要性は強く望まれるが、子吉川における洪水の歴史や給水制限の実施、流量不足による塩水遡上被害などの実情から鳥海ダム建設は、今後も強力に推進していく。



鳥海ダムの完成予想図

介護施設入所希望者の現状と施設整備見込みは。

待機者は、特別養護老人ホームが280人、介護老人保健施設が48人で前年比合わせて45人の増である。平成22年以降に特別養護老人ホーム100人分とグループホーム27人分の施設整備を計画しており、同施設の開設は、平成23年4月を目指している。以上のことから入所型介護施設、地域密着型サービスの計画は確保される見込みで、待機者の緩和が図られる。



8月

7日\*宮崎県串間市議会行政視察来市

10日\*議会改革検討委員会

11日\*会派代表者会議

17日\*議会改革検討委員会

\*議会全員説明会

19日~21日\*秋田県市議会議長会実行運動及び研修

視察

26日\*議会運営委員会

\*各議員連盟事業報告並びに政策提言の会

27日\*議会議員政治倫理審査会

9月

1日\*会派代表者会議

\*議会議員政治倫理審査会

2日\*第3回定例会本会議

(開会)

\*各議員連盟政策提言

3日\*会派代表者会議

4日\*議会議員政治倫理審査会

会議

7日~8日\*第3回定例会本

会議(一般質問)

# 小・中学校の エコ学習について

堀 友子議員



**質問** 小・中学校での環境に関する学習は、どの程度なされているか。

**答弁** 小学校では、低学年生活科の身近な廃品を使った玩具づくり、中学年社会科の浄水場やゴミ処理場の見学、高学年理科の電気の学習などがあり、中学校では理科や社会科でエネルギーの学習を行うなど、小・中学校を通じて、環境教育としてのエコ学習が教育課程に位置づけられている。今後、ふるさと学習と関連を図りながら、教科学習や児童会生徒会活動など教育活動全般を通じて、ものを大切にすることや環境にやさしい商品について考えるなど、身近な生活を見つめ直し、主体的に取り組む環境教育の推

進に努めていく。

**質問** 住宅用太陽光発電システム設置費用の補助について

**答弁** 環境問題への関心が高まるなか、二酸化炭素削減の手段として「太陽光発電システム」は大きな注目を集めており、政府では、導入量を2020年には10倍、2030年には40倍にするとのビジョンを示し、一般住宅への設置に対する補助制度を開始した。秋田県でも地球温暖化防止と環境意識の高揚を図るため、設置費用の一部補助を実施しており、本市としては、当面はこうした補助制度のPRに努めるとともに、他自治体の動向を勘案しながら、補助制度について検討していく。



廃品を利活用したリサイクルバザー(上川大内小学校)

## 第2回臨時会

(7月22日)

提出された案件は、契約関係3件、補正予算2件などですべて可決しました。

### 契約の締結

ケーブルテレビ施設伝送路工事請負契約

本荘地域の本荘地区、南内越地区及び子吉地区の一部の伝送路工事について、本荘・

マサカ特定建設工事共同企業体と8億598万円で契約を締結するもの。

ケーブルテレビ施設放送・通信設備工事請負契約

本庁、CATVセンター及び西目総合支所への多重情報伝送設備、農業気象観測設備などの整備についてパナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社東北社と15億3090万円で契約を締結するもの。

これら2件の契約は国から業務改善命令を受け、自己破産した社団法人日本農村情報システム協会から工事設計監理業務の譲渡先が株式会社イ

・エス・エスに決定し、業務遂行体制が整ったことによるものです。

物品購入契約

西目、東由利及び鳥海地域に凍結防止剤散布車(計3台)を配備するため、コマツ秋田株式会社由利支店と4567万5千円で契約を締結するもの。

### 補正予算

一般会計では、子宮頸がん及び乳がん検診において、それぞれ一定の年齢に達した女性に対して、検診手帳及び検診費用が無料となるクーポン券を交付する女性特有のがん検診推進事業の経費など1843万3千円を追加。また、簡易水道事業特別会計では、亀田地区浄水場建築に要する経費など4億1268万1千円を追加しました。

### 人事案件

監査委員の任命に同意  
佐々木 均氏

(船岡)

8日\* 議会運営委員会

\* 決算審査特別委員会

\* 議会報編集特別委員会

\* 会派代表者会議

9日、11日、14日\* 各常任委員会・決算審査特別委員会分科会

11日\* 会派代表者会議

15日\* 決算審査特別委員会主査会議

\* 議会議員政治倫理審査会

17日\* 決算審査特別委員会

\* 各議員連盟解散総会

18日\* 議会議員政治倫理審査会

25日\* 議会運営委員会

\* 第3回定例会本会議

(閉会)

\* 議会報編集特別委員会

\* 議会議員政治倫理審査会

\* 議会報編集特別委員会



# 常任委員会報告(Q & A)

上程(議事日程に組み入れ議題とし、審議の対象とすること)された議案は各常任委員会及び旧由利組合総合病院跡地整備特別委員会に付託され、当局より説明を受けるなど慎重に審議されています。

## 教育民生常任委員会

Q、第3子出生祝金50万円を20万円に減額して、その財源を小学校3年生までの医療費を無料化に充てる案件であるが小学校6年生までにはどうか。  
A、今回の子育て支援金条例の一部改正については、第3子以降の支給金額「50万円」を「20万円」に改め、その差額である「30万円」を財源として、出生後の支援策として福祉医療費(医療費無料化)を小学生まで拡大するものがあります。限られた財源で実

Q、資源ごみ袋と有料化指定ごみ袋の販売価格が同じ価格なのは納得がいかない。資源ごみ売り払い代金が入っているのに価格差があってもよいのではないか。また、資源ごみ袋の販売価格が業者任せになっており、価格が高すぎるので行政指導すべきではないか。  
A、ごみの減量化及び単身世帯や高齢者世帯への対応を図るため、有料化指定ごみ袋にミニサイズを追加するものがあります。指摘事項を真摯に受け止め、今後は条例改正を行い市民の負担を軽減し、家庭ごみの減量に努めます。



ミニサイズが販売される有料化指定ごみ袋

## 総務常任委員会

Q、市長公用車購入費(ハイブリッド方式)が補正予算に計上されている。その内容はまた県内でエコカーを導入している市は何市あるか伺いたい。  
A、地球温暖化防止と経済対策の一環として、国・県が推進している車両買い替え時の優遇制度が活用できることや、13年を経過した環境影響に大きい公用車に替え、冬期間の公務にも十分対応できる4輪駆動車にしたいこと、また、燃費の削減となることなどが

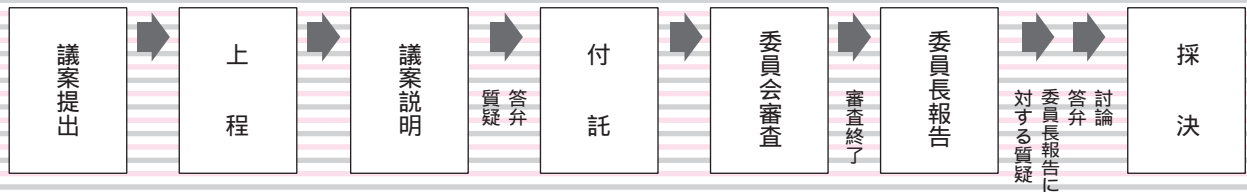
らで、トヨタエスティマハイブリッド(4輪駆動方式7人乗り)569万円)での国の優遇制度は減税分で30万3300円、また、13年以上経過した車両で永久抹消した場合、平成22年3月31日までの期間限定で25万円の補助金が交付されます。  
また、県内では、にかほ市、大仙市、秋田市、男鹿市、鹿角市などが環境対応車を導入していると聞いております。

Q、西滝沢水辺プラザ「地域交流施設」建設工事費の追加について伺いたい。  
A、地盤調査の結果、地盤が軟弱なため、建築基準法の基準値を満たすことができず、工事費が比較的安価で確実に必要耐力を得ることができない。表層地盤改良施工により、建築面積よりやや広い約700㎡を厚さ1mにおいて、セメント系固化剤を混合処理するものであります。



地域交流施設の建設予定地を視察する各委員

～ 委員会付託の流れ～



建設常任委員会

産業経済常任委員会

**Q** 本荘内黒瀬地区の下水道整備状況について伺いたい。  
**A**、本荘内黒瀬地区は、市町合併以前は「農業集落排水事業」の計画区域でありましたが、その整備を進める目的が立っておりませんでした。地区住民による早期整備要望の中、「市町」合併により旧大内町の公共下水道岩谷処理区に隣接していることで、管路接続により早期の事業着手が可能であることや、また経済比較の結果から整備手法を「公共下水道事業」へ変更

**Q** 平成20年度集落排水事業特別会計決算について、歳入で分担金や施設使用料の収入未済額が多額であり、その内容と対策は。  
**A**、平成20年度の滞納繰越分を含めた収入未済額が、分担金で1511万円、本人不明等による不納欠損額が228万円、施設使用料においては569万円の収入未済額と金銭債権の時効による不納欠損額2万4千円余りが発生しております。今後、主に過年度分を重点的に分割納付の奨励

したものであります。平成20年度に工事を着手を行い、平成22年4月の供用開始に向けて現在工事は順調に進行中であります。  
**Q** 市営住宅松涛団地の建替等、整備計画は進んでいると思うが、未だに一部老朽化している住宅が見受けられる。今後の整備計画について伺いたい。  
**A**、松涛団地は、昭和30年代から427戸建設されましたが、その後、老朽化が著しく、

により、収入率の向上に尚一層の努力をしております。  
**Q** 県統合家畜市場建設に於いて、市が県より要請されている用地取得と用地造成の財源に合併特例債が対象となるのか。また、用地については負担軽減を図るため、計画予定地に限定せず、柔軟に対応すべきではないか。  
**A**、市でも合併特例債を活用したいと考えていますが、総務省より、事業が用地取得から造成、本体工事までの一体

的市民のニーズに対応出来なくなっています。そのため、第1期建替事業で50戸を建設し、平成19年度に事業完了しました。今後については老朽化した30戸を含む74戸を対象に第2期建替計画を検討しています。現在353戸となる大団地の解消のため、他の団地への戸数配分についても検討し、市の総合発展計画次期計画となる、平成27年度以降の事業化を目指しています。

的計画であれば対象になる、との答えをもらっております。今後、県・J Aと協議を詰めてまいります。用地については、今回調査委託料として45万6千円を計上しておりますので、調査結果を踏まえ、また県にも事情を説明しながら、よく協議してまいります。



撤去予定の松涛団地



統合家畜市場の建設予定地(大内大谷)を視察する各委員

# 一般会計補正予算

## 35億6,896万6千円を追加

・平成20年度一般会計、特別会計、企業会計決算を認定  
事業の見直しや経費節減により  
一般会計の実質単年度収支が合併4年目で黒字に！

平成21年9月定例会は9月2日から9月25日までの日程で開催され、平成20年度各会計決算を認定。平成21年度各会計補正予算案、物品購入契約締結案、議会議員政治倫理条例改正案など計51件を可決しました。

定例会最終日の本会議で一般会計補正予算の修正案、条例改正案などで討論・起立採決が行われました。

### 市長公用車購入費 に対し修正動議

地球温暖化防止と経済対策の一環として、国・県が推進している税制面の優遇制度や地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用し、13年経過した公用車に替えて、環境対応車（ハイブリッド方式）569万円を導入する補正予算案に対し、関係する公用車購入補正額を削除し予備費に組み替える修正動議が3議員から提出されました。修正案の採決では、賛成12名、反対17名で否決。その後原案の採決が行われ、賛成19名、反対10名で可決されました。

### 修正案に対する賛成討論

補正予算とは、直接性・緊急性があり、市民生活に密着

した政策に市民の税金が使われることに重大な意味がある。地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業の性質や住民目線からは他の住民要望に向けることが常識的である。

### 修正案に対する反対討論

市の厳しい財政事情は認識しているが、このような状況下だからこそ、使える国の制度はフル活用し、財政負担を軽くするのも手法である。

また、常任委員会で否決とした「廃棄物の処理及び再利用並びに清掃に関する条例等の一部改正案」は賛成16名、反対13名で可決されました。

「子育て支援金条例の一部改正案」は「一定の効果が現れているにもかかわらず、わずか4年で政策転換するのは将来に大きな禍根を残す」などの反対討論もありましたが、賛成25名、反対4名で可決されました。（条例の内容は次ページに掲載しています）

## 決算審査特別委員会

自主財源の安定的な確保のため

収入率向上に尚一層の努力を！

上水道・簡易水道・下水道の使用料・負担金の

早期の全市一体化を図れ！

市では将来を見据え大計をもって、「新市まちづくり計画」に基づく情報ネットワークサービス、都市基盤整備、産業観光振興、教育文化施設の充実等大型継続プロジェクトを展開しています。これらインフラ整備と共に市民生活に直結する福祉教育施策の充実など均衡あるハード・ソフト両面に至る行政需要が求められます。このためには、市総合発展計画や財政計画などのしつかりとした行政計画のもとに、公債費負担適正化計画の確実な執行を伴った財政運営を望みます。全市の均衡ある一体的発展を目指し、将来にわたり持続可能なまちづくりに向け、足腰強くしかもその時々々の行政需要に応えられる柔軟で安定した財政基盤の確立に努めることが最も重要です。更にこれと並行し、市民に信頼される行政として市の組織機構や事務事業の不

一般会計決算収支状況

(単位：千円)

区分		平成20年度	平成19年度
歳入総額	A	51,010,573	53,423,040
歳出総額	B	49,464,122	52,166,142
歳入歳出差引額	C(A-B)	1,546,451	1,256,898
翌年度繰越財源	D	339,396	205,815
実質収支	E(C-D)	1,207,055	1,051,083

実質収支から前年度実質収支を引いた単年度収支は1億5597万1千円の黒字、更に財政調整基金積立や繰上償還を考慮した実質単年度収支でも4億9458万9千円の黒字となっています。



補正予算の主なもの

- 移動通信鉄塔整備事業（26箇所） 7億2374万6千円
- 子育て応援特別手当事業 7031万円
- 地域自殺対策緊急強化基金事業 381万2千円
- JA秋田しんせい地区活性化計画事業（水稻種子温湯消毒施設、ペレット堆肥製造施設） 4億8767万8千円
- 緑の再生プロジェクト事業 6600万円
- 理科教育施設整備事業 3017万円
- 災害対応特殊救急自動車導入事業 3097万円
- 秋田発・子ども双方向交流プロジェクト事業 165万2千円
- TDKSCクラブ化実行委員会補助金 250万円

人事案件

人権擁護委員の推薦  
伊 東 廣 闡氏  
(矢島町七日町)

条例関係

(主なもの)

国民健康保険条例の一部改正  
平成21年10月から平成23年3月までの出産育児一時金を35万円から39万円に改めるもの。

廃棄物の処理及び再利用並びに清掃に関する条例等の一部改正  
ごみの減量化及び単身、高齢者世帯へ対応するため、有料化指定ごみ袋にミニサイズ（15ℓ）を追加するとともに、家電リサイクル対象品を追加するもの。

子育て支援金条例の一部改正  
子育て支援金の第3子以降の支給額を50万円から20万円に改定し、30万円の減額分を活用し、医療費の無料化を小学校3年生まで拡大するもの。

第4条（就業の報告義務）から「（市の出資団体等を除く）」を削除し、第11条（市との請負契約等に対する遵守事項等）との整合性を図り、企業の経営主体が私人である

か、公の法人であるかを問わないとするもの。

その他議案

同報系防災行政無線設備改修工事請負契約の締結  
海岸部の本荘、岩城及び西

目地域の災害時の情報伝達のための防災行政無線設備をデジタル化するため、株式会社有電社秋田営業所と2億160万円で契約を締結するもの。

物品購入契約の締結

矢島、由利、大内、東由利及び鳥海地域に小型動力ポンプ付積載車（計5台）を配備するため、株式会社高義商会と3727万5千円で契約締結するもの。

定住自立圏形成方針の策定  
本荘地域及び旧7町の各地域が相互に役割分担して連携を図り、生活機能強化、結びつきやネットワークの強化、圏域マネジメント能力の強化の3項目の政策分野を掲げ、それらの方針を定めるもの。

陳情・請願

(黒田 勉)

今定例会には、請願1件、陳情3件が上程され、また、継続審査中の陳情3件も審査されました。

採択

主要地方道鳥海矢島線直根地区整備促進に関する請願  
(主要地方道鳥海矢島線直根地区整備促進協議会 会長 柴田 恭一)

(紹介議員 佐藤 謙司)

JR不採用問題の早期解決を求める意見書提出についての陳情  
(国鉄労働組合秋田地方本部 執行委員長 瀬下 一司)

由利本荘市内循環バス(ごてんまり号)を赤沼地内国道105号内に運行をお願いする陳情  
(阿部 力 外368名)

不採択

由利本荘市の管理する漁港施設内において、集魚灯を使用したハタハタ釣り禁止の市条例制定を求める陳情

継続審査

鳥海高原における自然景観保全条例制定についての陳情  
(浅野 弘紀 外3名)

保険で良い歯科医療の実現を求める意見書提出についての陳情  
(秋田県保険医協会 会長 三浦 利治 外1名)

「物価に見合う年金の引き上げ」に関する意見書提出についての陳情  
(全日本年金者組合秋田県本部 執行委員長 渡部 雅子 外1名)

意見書

今定例会で次の委員会発案による意見書案が可決され関係機関等に送付しました。

委員会発案

JR不採用問題の早期解決を求める意見書

## 政治倫理審査会の審査報告の概要を公表します

由利本荘市議会議員政治倫理条例の規定により、市長から請負契約等の報告があり、平成21年6月定例会で議長が議会にその状況を報告しました。

その後、平成21年8月17日付で7名の議員から審査請求書（審査請求内容＝1．疑義があると認められる者の氏名高橋和子、佐藤實、長沼久利、齋藤作圓。2．疑義の内容由利本荘市議会議員政治倫理条例第11条の規定にある請負契約等の締結の辞退について）が提出され、平成21年8月20日付で議長は「政治倫理審査会」に審査付託しました。

審査付託された「政治倫理審査会」は、関係議員の関係資料や弁明の機会を設けながら、平成21年8月27日から同年9月18日まで5回の審査会を開催しました。

「政治倫理審査会」では、審査請求の適否、政治倫理基準の違反行為の存否など慎重に審査を行い、政治倫理上の認識や努力義務の履行、政治倫理条例抵触など総合的判断に立ち、次のとおりの審査結果となりました。

政治倫理審査会（平成21年9月25日現在）

委員長	村上 亨	副委員長	今野 英元
委員	田中 昭子	委員	土田 与七郎
"	渡部 功	"	堀 友子
"	佐藤 勇	"	鈴木 和夫
"	佐藤 讓司	"	（欠員1名）

（高橋和子、齋藤作圓委員は辞任）



政治倫理審査会の様子

### ・高橋和子議員

市取引農協の理事が夫で非常勤であることや条例制定時その主旨を伝えており、これ以上の関与は不可能とされることから、政治倫理上の認識はあり、努力義務の履行は認められると判断し、総合的判断では条例抵触が認められるものが過半数（委員長を除く。）を占めましたが、勧告はしないものとなりました。

### ・佐藤 實議員

本人が経営陣の理事であることや弁明時、いかなる理由があるとはいえ、直前に弁明を辞退したことなどの対応を含め、政治倫理上の認識、努力義務の履行は認められず、総合的判断で委員全員（委員長を除く。）が条例に抵触するものと判断し、同条例施行規則第12条の規定による注意勧告としました。

### ・長沼久利議員

由利本荘市商工会役職の辞退、取引の中止申し出など審査請求後の努力義務の履行は認められるものの、取引時には政治倫理上の認識が認められず、総合的判断で条例抵触が認められるものが過半数（委員長を除く。）を占め、同条例施行規則第12条の規定による注意勧告としました。

### ・齋藤作圓議員

請負取引業務は、指定管理者制度による市の代行とする委託業務であることから、営利目的ではなく、制度は条例主旨にそぐわないものとし、さらに審査請求前に関係私企業の役員辞任、政治倫理上の認識や努力義務の履行など総合的には条例抵触は認められないと判断し、勧告はしないものとなりました。

以上が「政治倫理審査会」の関係議員の審査結果であります。審査会では関係議員において、現行の「由利本荘市議会議員政治倫理条例」の基本的遵守事項を市民の信頼に値する倫理性と自覚し、高潔性を明らかにするとともに、市民の信託を受けて活動する市議会議員として行動され、さらに議会においても同条例の見直しを含め、議会議員総意のもとで名誉と品位を守り、市民の信頼を回復するよう要望しました。

（平成21年9月25日、審査結果報告書を議長に提出）

## 関係私企業の請負契約等の状況報告

議会議員政治倫理条例の規定に基づき、市長から関係私企業等と10万円を超える請負契約等について平成21年9月15日付けで報告がありましたので、同条例施行規則第18条第2項の規定により下記のとおり公表します。

関係する議員	小杉良一	大関嘉一	長沼久利	長沼久利	長沼久利
請負人の氏名	小杉農園 小杉良一	仕出しの大関 大関三郎	フレッシュマート ながぬま 長沼貞子	フレッシュマート ながぬま 長沼貞子	フレッシュマート ながぬま 長沼貞子
事業名	花苗等の購入	折詰め等購入	賄い材料購入	賄い材料購入	賄い材料購入
契約年月日又は支払い年月日	平成21年7月3日	平成21年7月8日	平成21年7月8日	平成21年8月11日	平成21年9月8日
請負契約等の金額	177,692円	161,000円	259,675円	271,645円	195,580円
請負契約等の内容	花苗等の購入	敬老会用折詰め (おにぎり含む) の購入	生鮮食品の購入 (6月分)	生鮮食品の購入 (7月分)	生鮮食品の購入 (8月分)
請負契約等の期間 (物品の発注・納入時期)	平成21年6月9日～ 平成21年6月30日	平成21年6月19日	平成21年6月1日～ 平成21年6月30日	平成21年7月1日～ 平成21年7月31日	平成21年8月1日～ 平成21年8月30日
選定理由	地域内ということで 格安に購入できる ため	大口を扱える業者 がなく可能な業者に 発注したもの	旧町時代の地元業 者で納品可能な業 者を選定	旧町時代の地元業 者で納品可能な業 者を選定	旧町時代の地元業 者で納品可能な業 者を選定

関係する議員	伊藤順男	伊藤順男	伊藤順男	高橋和子 佐藤實	高橋和子 佐藤實
請負人の氏名	伊藤建友株式会社 代表取締役 伊藤佐喜男 (監査役 伊藤佐治右衛門)	伊藤建友株式会社 代表取締役 伊藤佐喜男 (監査役 伊藤佐治右衛門)	伊藤建友株式会社 代表取締役 伊藤佐喜男 (監査役 伊藤佐治右衛門)	秋田しんせい 農業協同組合 代表理事組合長 阿部和雄	秋田しんせい 農業協同組合 代表理事組合長 阿部和雄
事業名	大内中学校 音楽室床改修	出羽中学校 物置小屋屋根改修	農村環境改善センタ ーポーチ屋上修繕	物品等の購入	物品等の購入
契約年月日又は支払い年月日	平成21年7月8日	平成21年7月8日	平成21年8月12日	平成21年6月30日	平成21年7月31日
請負契約等の金額	630,000円	283,500円	472,500円	2,832,152円	2,099,706円
請負契約等の内容	大内中学校音楽室 の床、老朽化のため 塩ビシート床張り 替え	出羽中学校 物置小屋屋根改修	農村環境改善セン ター玄関ポーチ屋 上防水シート及び 天井の一部を雨漏 りのため張り替え	消耗品など 物品等の購入 (6月分)	消耗品など 物品等の購入 (7月分)
請負契約等の期間 (物品の発注・納入時期)	平成21年7月8日～ 平成21年8月24日	平成21年7月8日～ 平成21年8月24日	平成21年8月12日～ 平成21年9月18日	平成21年6月1日～ 平成21年6月30日	平成21年7月1日～ 平成21年7月31日

## 就業報告・関係私企業等の届出変更状況

関係議員氏名	就業報告(条例第4条)	関係私企業等(条例第11条)
長沼久利	・由利本荘市商工会 理事辞任(平成21年8月26日)	
大関嘉一	・由利本荘市商工会 理事辞任(平成21年8月21日)	
伊藤順男		・伊藤建友株式会社(父 監査役)届出(H21年9月9日) ・伊藤建友株式会社(父 監査役)辞任による変更届出 (H21年9月14日) <削除>
齋藤作圃	・にしめ物産株式会社 取締役辞任(平成21年8月12日) ・由利本荘市西目土地改良区 理事辞任(平成21年8月31日)	・にしめ物産株式会社 <削除> ・由利本荘市西目土地改良区 <削除>

### 総務常任委員会

総務常任委員会は7月28日から31日までの3日間の日程で、北海道千歳市、栗山町を行政視察してまいりました。

千歳市では、「財源確保の取り組みについて」住民参加型市場公募地方債実施の経緯と効果等を研修いたしました。

この住民型市場公募地方債は、市民主体、市民協働の都市経営『あなたも千歳のまちづくりに参加してみませんか?』をテーマに広く市民への関心を持つてもらい、投資家という立場で市政に参画してもらうことを目的に平成16年度から発行しており今年で5年目となり、市は市民（投資家）にとっても有利な発行条件であるものの、市にとっては発行コスト等を考慮すると銀行等引受債が有利となり相反するものであるが、市民に対する市政への参加意識の高揚と発行経費の抑制の双方について慎重な議論を続けていく必要があると説明がありました。

次に、「議会改革の取り組みについて」議会基本条例を制定した栗山町を視察しました。

財政、経済情勢の厳しい中、4年に1度の統一地方選挙の投票率が過去最低を更新し議会に対する期待感の薄れから、無関心になれば改革の取り組みが遅れてしまう危機感から、町民に開



栗山町で説明を受ける各委員

かれた議会改革が出来ないものかと議会基本条例を4年半検討し、平成18年5月に制定されました。透明性の確保として、3月定例議会後に議会報告会を開催することや、財政調査特別委員会を設置し、住民にかかわりの深い政策を議決の際は、住民を参考人として招いて反映させております。また、監視議会から議会本来の提案権、修正権を積極的に行使、1問1答形式の質問・反問権（町長が逆質問する事）が出来ることなどについて説明を頂きました。

常に、行政側と議会が緊張感を持ち市民と共に、自立できるまちづくりに共感し、これからの本市の議会のあり方に示唆をいただき身の引き締まる研修であり、参考にすべきと実感してきました。

## 察報告

### 教育民生常任委員会

当委員会は、7月14日～16日の日程で行政視察を行いました。

鹿児島県霧島市

「きりしますくすく子どもプラン」について

霧島市では、「安心して子どもを産み、子育てができる霧島市」の基本理念を実現するため、①親が安心して、妊娠、出産、育児ができる環境づくり②子どもの社会性の向上や自立を助ける教育環境づくり③子どもが安全に生活できるまちづくり④すべての子どもが幸せに生きる権利の尊重の4つの基本目標を掲げ、「霧島市に住みたい、霧島市で子育てをしたい。」と想っていただけのように育て環境の整備、充実を図り、これらの取り組みを市民、行政、地域が一体となって推進することで子育てへの不安のないまちづくりをめざし策定されたものでした。

また、地域全体で子育てを応援する気運の醸成と、子育て世帯の経済的負担の軽減を目的に、妊娠中の方、18歳未満の子どもがいる世帯を対象に行政がパスポートを交付、対象世帯が協賛店舗でパスポートを提示すると、協賛店舗ごとに決められた各種特典・サポートを受けられることができる「かごしま子育て支援

パスポート事業」も併せて研修しました。

鹿児島県鹿兒島市

「かごしま環境未来館」について

自然の恵み（緑：屋上や建物周囲の緑化による空調効果・水：地下水や雨水の空調、散水などへの活用・空気：敷地全体の卓越風を取り込む建物配置・光：太陽の光を取り入れ、暖かみあふれる空間）の最大限の活用と緑の創出（敷地全体を使い豊かな緑を創出し地球温暖化やヒートアイランド現象などの対策に貢献する施設・敷地全体を四季の変化を楽しめる潤いのある緑の広場とし、多くの人に親しまれる施設・屋上を全面緑化し、緑にとけ込み、建物を主張しない施設）を理念に約42億円で建設、参加・体験型の環境学習やリサイクル活動など様々な事業を展開している当館を視察しました。



かごしま環境未来館を視察する各委員

産業経済常任委員会

7月14日から16日までの日程で、北海道滝川市では「地域公共交通活性化のための施策」を、美瑛町では農業と観光の融合、地域おこしの観点から「プロジェクト北の杜」と「日本で最も美しい村」連合と町の取り組みについて先進事例の視察を行いました。紙面の関係により滝川市を取り上げ報告いたします。

滝川市は中空知地域の中心都市であり、周辺市町の交通の拠点として機能しており、路線バスは滝川市内、周辺市町とのネットワークを形成し、市民をはじめ周辺市町住民の通学・通院・買物の足として重要な役割を果たしています。しかし、利用者は人口減少、自家用車利用の増加により減少し、また、市街地の拡大に伴い、効率的な運行が難しい状況にありながら、利用者の4割が60歳以上と交通弱者の重要な交通手段となっています。一方、郊外部では公共交通による移動手段が確保できない交通空白・不便地域が出現しているほか、今後、市内バス路線の経営環境が一層悪化し、不採算状況が続くことにより廃止となる可能性も抱えています。

このため、地域における①交通弱者の満足度向上に供する交通体系の確立、②交通空白・不便地域の利便性を確保

し、③利用者満足度を維持・高めていくことにより、④地域の活力向上に結びつけるため、国の補助事業の採択を受け、市内循環バスの実証運行事業を行っています。市内循環バス事業ではルートを変えず12時から6時まででは路線バスに休んでもらいたい協議会で新たなバス停を設置し運行委託し、全地域でODE調査を行い、スクールバスは業者に委託し、お年寄りも利用できる条件を整備し、既存商店街とは「高齢者が商店街を支えている」という利用者側にとって活性化を合わせて探っています。スクールバスの利活用、既存商店街の活性化、利用者満足度調査など、本市の取り組みにも十分参考に出来るものと感じました。



滝川市で説明を受ける各委員

行政視

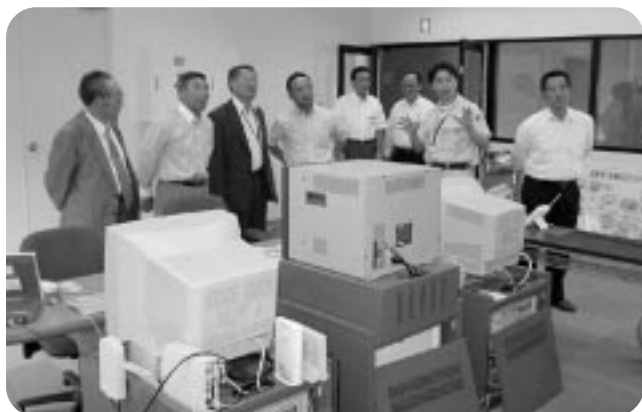
建設常任委員会

委員会の行政視察は7月15日から17日の日程で岡山県新見市、鳥取県出雲市、鳥取県鳥取市それぞれでの先進事業を視察いたしました。その中で新見市の「公共下水道事業下水道高度化システム事業」についてご報告いた

します。平成12年に下水道施設の高度管理を進めると共に、その施設を有効利用し、過疎化が進み少子高齢化も進んでいる中で、子どもからお年寄りまでITに触れる環境を構築する事を目的にした、「新世代下水道支援制度機能高度化促進事業」が国より認定されました。それにより全世帯に光ファイバーを接続し、約7割の難聴地域のデジタル放送化への取り組みを行いました。これにより通信サービス事業、CATV事業、IP電話サービス、告知端末

さらに下水道エリアについては下水道施設の高度化及び各戸の自動検針が可能になりました。光ファイバーは下水道管渠を利用して敷設したもので、工事費は架空工事の約3倍の増になるが、地震、台風等の災害に強い、電柱の支障移転がないから、ランニングコストがほとんどかからないとの事でした。ノートパソコンで遠隔監視・操作、維持管理の効率化。各戸の自動検針システムについては、水量の常時監視、漏

水検知、自動検針等多分野での活用が可能とのこと。さらに整備された光ネットワークの活用により情報格差の解消に大きく貢献しているとのことでした。新見市正田地区は小野田セメントの工場あつた場所である現在は浄化センターが建設されビオトープ（自然生態が観察できる人口水路）やカスケード（処理水を再利用した遊びの空間等）で市民に親しまれながらの町並みが形成されていきました。想定外の下水道管を利用した光ファイバーの設置・活用にとつても多様な活用が望まれるとCATV事業と参考になる事項が多く有意義な視察が出来ました。



浄化センターを視察する各委員

読者の声

本市の未来予想図を  
描きながら

本荘地域

鈴木 憲一

市議会だより第17号に平成21年度一般会計補正予算案が可決されたと載っていた。本市も時代に呼応しつつ、これまで以上に市民の安全安心の実現や住んで良かったと思われる街に発展されるよう期待するところ大である。

世界もわが国も、今大きくチェンジしようとしている。これまでの価値観も常にこれでよいのか、同じ視点で進むべきかが更に問い直さなければならなくなってきた。

何か新しいことを始めようとする時、法令や条例で決められているのか、計画や予算が決まっているので安易にはできないといわれることがある。時代や世界の流れが変わりつつある時代には今一度フィードバックし、その法令や計画の段階から見直しする柔軟な姿勢や複眼的な見方が必要になってくる。例えば都市計画の道路のことについてもかつての拡幅から、歩行者が対面する商店にゆっくり歩いて行ける幅がベターであるといわれるようになった。古い街並みはできるだけ残し、それに新しい感性やおしゃれ感覚の充満する文化漂う街づくりを期待している。文化複合施設の完成も間近、本市の未来予想図を描きつつ議会だよりを愛読したい。

第18回全国市町村交流レガッタ下諏訪大会

市議会子吉川チーム

2連覇!

全国ポート場所在市町村協議会主催の全国市町村交流レガッタ下諏訪大会(長野県)が10月3日~4日の

両日開催され、満山紅葉を映す諏訪湖の下諏訪町漕艇場において、105クルーの熱戦が展開されました。

本市からは各部門に「本荘由利森林組合」、「油小路レディーズ」、「それ櫛引」及び市議会子吉川、鳥海山チームが参加しました。

議会議員の部では、市議会子吉川チームが見事2連



全国レガッタに参加した市民の皆さんと各議員

覇を達成。各チームもそれぞれ健闘し、ポートのまち由利本荘をアピールすることができました。来年は兵庫県加古川市で開催されます。

議会を傍聴してみませんか?



市議会の定例会と臨時会の本会議は一般に公開されており、どなたでも自由に傍聴いただけます。なお、開催日程は、市のHPまたはケーブルテレビでご確認ください。



編集後記

今9月議会は民主党中心による政権交代が実現する中、期待と不安を抱え閉会されました。

この議会だよりが発行される頃にはこうした不安要素を抱えながら議会運営を担う新議員が選出されております。

私たちが議会報編集特別委員にとつても、今回の編集を最後に新たに選出された委員に引き継がれるわけですが、9人の委員が市民に分かり易く読んでいただける議会だよりをと口角泡を飛ばしながら、紙面作りに努めてくれたメンバーに惜別の情を禁じ得ません。

議会報の改革の一つに「市民の声」をいただいで掲載して参りました。

市政に対する率直なご意見や要望、そして提言などを寄せていただきました皆さまに改めて感謝申し上げます。

議会だよりをご愛読いただき有難うございました。

